宅地建物取引士講座 上ケ原

さまざまな業界で需要が多く、人気の資格。活躍の場が広がる。

〔宅地建物取引士とは?〕

宅建試験は、約25万人が受験する人気の国家資格です。その人気の秘密は、社会的ニーズの高さ・活用範囲の広さにあります。不動産業に携わる方ばかりでなく、金融関係、建設関係はもちろんのこと、他業種でも不動産に関わる専門知識を要するセクションでは、宅建の知識が業務に深く関わることもあり、高い需要を誇っています。宅地建物取引士は幅広い業種の就職活動に有利なだけでなく、就職してからも不動産業界では資格手当が出る等給与面でも優遇されます。

〔講座概要・特色〕

約半年間で宅建士合格を目指す短期合格カリキュラムです。5月からまず主要科目で学習に時間のかかる「民法等」の内容から学習を始め、「宅建業法」、「法令上の制限」、「その他関連知識」と、9月中旬までの各講義で合格のために必要な知識を身につけます。そして、本試験までの約1ヶ月で本試験形式の予想問題を解くことにより効率よく合格レベルに到達することができます。

〔Webフォロー〕

本講座は、講義をPC、スマートフォンやタブレット端末でも受講いただけるWebフォローがついています。Web動画で繰り返し講義の視聴が可能ですので、欠席時の補講としてだけではなく復習用としてもご活用ください。※Web動画の担当講師と本講座(エクステンションプログラム)の担当講師は異なります。

募集定員 100名 **募集締切** 4月23日(金) **受講料** 在学・卒業生：46,000円／一般：50,000円(教材費を含む)

〔カリキュラム・スケジュール〕

5月初旬 ▶ 9月中旬 ▶ 10月第3日曜日

- 基本講義+科目別基礎答練
  民法(11回)　法令上の制限(6回)
  宅建業法(7回)　その他関連知識(3回)
- 基礎答練
  民法(1回)・宅建業法(1回)　法令上の制限(1回)

▶ 直前総まとめ講義
演習(8回)
公開模試(1回)

▶ 本試験

〔合格率〕 受講生合格率／全国平均合格率

2018年	2019年	2020年(10月実施分)
23.3%／15.6%	32.4%／17.0%	25.0%／17.6%

参考 一般財団法人 不動産適正取引推進機構
http://www.retio.or.jp/

月	日	時間	講座内容
5月	7日(金)	18:50～21:30	民法等①
	11日(火)		民法等②
	14日(金)		民法等③
	18日(火)		民法等④
	21日(金)		民法等⑤
	25日(火)		民法等⑥
	28日(金)		民法等⑦
6月	1日(火)		民法等⑧
	4日(金)		民法等⑨
	8日(火)		民法等⑩
	11日(金)		民法等⑪
	15日(火)		基礎答練(民法等)
	18日(金)		宅建業法①
	22日(火)		宅建業法②
	25日(金)		宅建業法③
	29日(火)		宅建業法④
7月	2日(金)		宅建業法⑤
	6日(火)		宅建業法⑥
	9日(金)		宅建業法⑦
8月	4日(水)	10:00～16:10	基礎答練(宅建業法)
			前半まとめ講義(民法・宅建業法)

月	日	時間	講座内容
8月	10日(火)	10:00～16:10	法令上の制限①
			法令上の制限②
	24日(火)		法令上の制限③
			法令上の制限④
	27日(金)	10:00～12:40	法令上の制限⑤
	31日(火)	10:00～16:10	法令上の制限⑥
			その他関連知識①
9月	3日(金)	10:00～12:40	その他関連知識②
	7日(火)	10:00～16:10	その他関連知識③+法改正セミナー
			基礎答練(法令上の制限他)
	10日(金)	10:00～12:40	直前総まとめ講義演習①
	14日(火)		直前総まとめ講義演習②
	17日(金)		直前総まとめ講義演習③
	21日(火)	18:50～21:30	直前総まとめ講義演習④
	24日(金)		直前総まとめ講義演習⑤
10月	1日(金)		全国公開模試
	5日(火)		直前総まとめ講義演習⑥
	8日(金)		直前総まとめ講義演習⑦
	12日(火)		直前総まとめ講義演習⑧

※10:00～16:10の日は、途中50分の休憩をはさみます。
※全国公開模試の受験料は、講座受講料に含まれます。

〔試験データ〕【過去6年間の年度別試験結果・合格ライン】

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率	合格ライン
2015	243,199名	194,926名	30,028名	15.4%	31問
2016	245,742名	198,463名	30,589名	15.4%	35問
2017	258,511名	209,354名	32,644名	15.6%	35問

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率	合格ライン
2018	265,444名	213,993名	33,360名	15.6%	37問
2019	276,019名	220,797名	37,481名	17.0%	35問
2020(10月実施分)	204,163名	168,989名	29,728名	17.6%	38問

※本試験の出題数は、50問です。

〔試験制度〕

受験地	試験は各都道府県で実施されるため、本人が住所を有する都道府県での受験が原則となります。
受験日	毎年1回　例年10月第3日曜日　午後1時～3時(2時間)
受験手数料	7,000円(2020年度)
試験方法・出題数	方法:4肢択一の筆記試験(マークシート方式) 出題数:50問
試験内容	法令では、試験内容を7項目に分類していますが、 本講座では法令をもとに以下の4科目に分類しています。 ①民法等 ②法令上の制限 ③宅建業法 ④その他の関連知識

本講座受講料に受験料は含まれません。

受講生の声

宅地建物取引士講座
● 商学部　2年　Tさん(女性)
〈2019年　宅地建物取引士資格試験合格〉

講座を受講する前、一年間の独学で試験に挑みましたが、難しい法律用語を上辺だけ理解し暗記していたので合格することができませんでした。本講座では、先生が実践的なお話しも交えて教えて下さるので、難しい法律用語や分からないところもきっちりと理解することができ、宅地建物取引士の資格に合格することができました。この講座で、毎回講義に出席をして復習をすれば、合格を目指せると思います。

■ 協力:TAC株式会社